

イスラエル

Israel



イスラエルの西側地中海に面する地域に位置するテルアビブ都市圏（グッシュ・ダン）はイスラエル最大の都市圏で、2010年の都市圏人口は268万人であり、同国の人口（約700万）のおよそ40%が集中している。行政管轄面積は50.6km²、人口密度は1キロ平方あたり7445人、イスラエル中央統計局による国勢調査によると2006年現在、総人口は38万人であり、人口増加率は0.9%である。テル・アビブとはヘブライ語で「春の丘」を意味し、シオニズム国家を夢見たテオドール・ヘルツルの小説の中からとった名称である。Tel Aviv, located in the Gush Dan metropolitan area bordering the Israeli Mediterranean coastline, is Israel's largest city. The metropolitan population in 2010 was 2,680,000, which is about 40% of Israel's total population of 7 million. The metropolitan government itself controls an area of about 50.6 square kilometers, with a population density of about 7,445 per square kilometer. According to the population census conducted by the Israeli Central Bureau of Statistics in 2006, the population of the city itself is about 380,000, with a yearly growth rate of 0.9%. In Hebrew, Tel Aviv means "Spring Hill", a name taken from a novel by the Zionist Theodor Herzl.

90年前に出来た白い街・世界遺産の街 テル・アビブ ~ Tel Aviv ~

また地中海に接するエリアは欧米から多くの観光客が訪れ、ナイトクラブやバーが立ち並び世界屈指のリゾートである。市中心部には、放送局や巨大ショッピングモールなどのほか、ハビマー劇場、ヘレナ・レビンシュタイン博物館、イスラエル国防軍本部、リクード、労働党本部や情報機関のモサッドやシャバック本部などの他に報道・商業・政治などの主要機能が集中する。

ハ・メディナ広場周辺の地域は、白亜建造物が並び計画都市で、白い都市として世界遺産に登録されている。

The area of the city fronting the Mediterranean is a favorite of tourists from Europe and the USA, as the many nightclubs and bars lining Tel Aviv's streets have turned it into a world-class resort.

Media, commercial, and political institutions are densely concentrated in the city center, including the Israeli Broadcasting Authority, large shopping malls, the Habimah Theater, the Helena Rubinstein Pavilion, IDF Headquarters, the Likud and Labor Party Headquarters as well as the intelligence agencies Shin Bet and Mossad.

In the area around Hamedina Plaza are found the many white-walled buildings of international design specially preserved here, which prompted UNESCO to declare this area -- the White City - a World Cultural Heritage site.



テルアビブの「白い都市」は、1920年代から1950年代にかけて白色や明るい色の建造物群が建てられたテルアビブの街区の名称である。それらの建造物はバウハウス様式あるいはインターナショナル・スタイル[1]が採用されている。

テルアビブの中心地区では、いまだにそうした様式の建物を4000軒以上も見ることができ、これは一都市内に集中しているものとしては世界でも類を見ないものである。このことから、この「白い都市」は20世紀前半の建築や都市計画を考える上で逸することの出来ない優れた例証として、2003年にユネスコの世界遺産に登録された。同時にそれは、この町が育んできた伝統や文化、あるいは取り巻く気候的要件といったものに、建築様式をどう馴化させるかというユニークな例証にもなっている。

